

科目名	生成AIで変わる情報システム	
担当講師	宮川裕之、寺尾敦、村田和義、居駒幹夫、弥生隆明	
分類	選択	
授業時間数（時間）	7.5	
授業形態	対面	
授業の概要	2022年に登場したChatGPTにより、人工知能の可能性が大きく広がり、ユーザーとの対話を通じて様々な質問に答えたり、創造的な文章を生成する能力を示した。また、社会の多岐にわたる分野での応用が進み、テクノロジーと人間の関係が新たな段階に入っている。本科目では、生成系AIの中身についての解説とともに、生成系AIが広義の情報システムに対してどのようなインパクトを持つのかを、各分野の専門家により解説する。	
特色とメリット	本科目は、ChatGPTをはじめとする生成系AIの仕組みと進化を理解し、それが情報システムや社会に与える影響を多角的に考察する社会人向け講座である。情報、経済、経営、認知科学などの視点から専門家が解説を行い、AIの本質を理解するとともに、実務への応用や戦略的な活用方法を探ることができる。生成AIの実践的な活用方法を学ぶことで、業務の効率化だけでなく、新たな価値創出につなげる視点を身につけられるのが大きなメリットである。	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 生成系AIの歴史や仕掛けについて最低限の知識を持つ 情報、経済、経営、認知科学といった様々な分野における広義の情報システムに対して、生成系AIがどのようなインパクトを与える可能性があるのかを知る 	
内容	1,2	【イントロダクション+情報分野へのインパクト1】 生成系AIに至る人工知能（AI）の歴史を深層ニューラルネットワークの進化に焦点を当てて概観する。また、情報システム開発（要件定義・設計・開発・テストなど）のうち、特に上流工程での生成系AIのインパクトについて、実例を交えながら紹介する。（居駒、弥生）
	3	【情報分野でのインパクト2】 人間とコンピュータのインタフェース部分における生成系AIのインパクト（村田）
	4	【組織でのインパクト】 企業・行政等の組織に対する生成系AIのインパクト（宮川）
	5	【人間に対するインパクト】 生成系AIによる人間の認知プロセスの理解の可能性。（寺尾）
受講の前提条件	特になし	
事前学習	特になし	
事後学習	特になし	
参考文献・オンライ	特になし	